

昭和20年6月29日 岡山空襲

倉橋英男

(井原出身
日展作家)

画家

やつぱり

焼跡

描いた

展



水彩 昭20・9・19 描く岡山城跡

井原出身の倉橋英男(明40~平14)の家族が故郷をはなれる時、遺品を整理した際、発見された岡山空襲の焼跡などの油絵・水彩など9点を展示します。岡山から遠くはなれた県西部の井原では、岡山市の空襲など忘れられていますがこの疎平和への思いをあらためて思い出してほしいと思います。倉橋英男は終戦直前の昭20

4月の東京夜間大空襲で、恩師の作品と自分の作品をすべて焼失させて、焦り井原に帰りました。そんな時期の作品です。小さな板キャンバスや茶巾を画用紙のものですが時代を感じます。

あわせて関連資料展として、彼の描いた昭20~21年の油絵3点のほか、岡山城の焼跡、防空頭さん、終戦直後の生活用品などを展示します。

とき : 2017年 6月21日(水)~6月30日(金)

open時間 11:00~17:00 (期間中休みなし)

ところ : ⁷¹⁵⁻⁰⁰¹⁹井原市井原町(新町)1517-1 (0866-62-0108)

古民家カフェ 瓦釜房

主催 : 井原洋画研究会 (呼びかけ人 藤井 堯 ⁰⁸⁶⁶⁻⁶²⁻¹⁹⁰⁹)